

# 令和5年度 学校関係者評価のまとめ <学校関係者評価委員による評価と意見(改善策)>

くしろせんもん学校

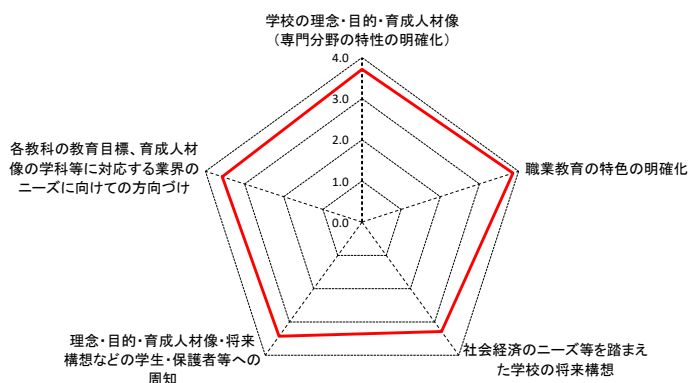
4…適切、3…ほぼ適切、2…やや不適切、1…不適切

## 1 教育理念・目標

	4	3	2	1	平均	昨年度
学校の理念・目的・育人人材像(専門分野の特性の明確化)	5	2	0	0	3.7	3.8
職業教育の特色の明確化	6	1	0	0	3.9	4.0
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想	2	5	0	0	3.3	3.3
理念・目的・育人人材像・将来構想などの学生・保護者等への周知	3	4	0	0	3.4	3.3
各教科の教育目標、育人人材像の学科等に対応する業界のニーズに向けての方向づけ	4	3	0	0	3.6	3.5

昨年度より高い数値・前年度と同じ数値だった項目

昨年度より低い数値だった項目

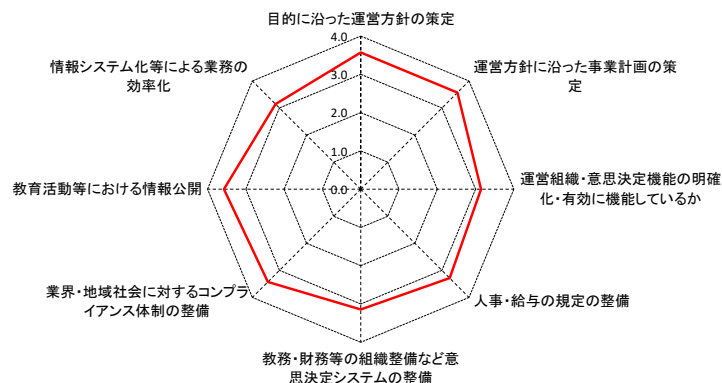


・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 教育理念が現場で息づいていると思います。学生の課題はあると思いますが、一人一人が大切にされる教育を受けた学生が、今度は現場で人を大切に思い尊重しながら働くことにつながってほしいと思います。
- 「将来構想」について、ご検討いただきたい。
- 保護者への理解・協力も必要と感じます。
- 福祉専門職も求められるものが変わってきているので、社会から求められている変化への対応を更に進めていただきたい。
- 少人数の学生だからこその細やかな情報提供が行われていると感じます。
- 学校の将来構想については、少子化が更に進む今後の情勢ですが、社会に必要な人材を養成する使命を改めてアピールする必要があると思います。
- 今年度は新型コロナウイルス感染症対策が5類に移行したことで、昨年までとは違った学校運営を求められる中、学校の理念・目的・育人人材像を示すことや職業教育の特色の明確化などを進め、外部への発信も工夫するなど積極的な取り組み姿勢を感じます。課題であった保護者との協力関係構築に向けた取り組みも前年より継続して取り組まれており成果として良い方向に向かわれていると感じます。今後はこれまで以上に外部への発信等工夫を重ねていただき、学校関係者のみならず地域住民にも浸透するよう取り組みを進めていただきたいと考えます。

## 2 学校運営

	4	3	2	1	平均	昨年度
目的に沿った運営方針の策定	4	3	0	0	3.6	3.8
運営方針に沿った事業計画の策定	4	3	0	0	3.6	3.7
運営組織・意思決定機能の明確化・有効に機能しているか	1	6	0	0	3.1	3.2
人事・給与の規定の整備	2	5	0	0	3.3	3.2
教務・財務等の組織整備など意思決定システムの整備	1	6	0	0	3.1	3.3
業界・地域社会に対するコンプライアンス体制の整備	3	4	0	0	3.4	3.5
教育活動等における情報公開	4	3	0	0	3.6	3.8
情報システム化等による業務の効率化	1	6	0	0	3.1	3.3



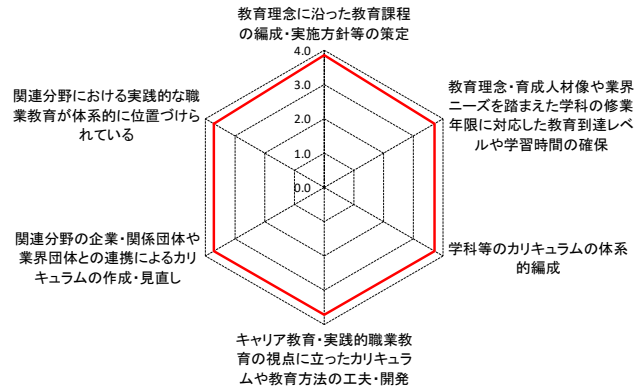
・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 運営は大変だとは思いますが、努めていると思います。
- 組織の意思決定と業務効率化への改善を期待しています。
- 教育関係者も働き方改革等の影響を大きく受けているところですが、まずは教職員の心身の健康が大切です。諸規定の整備が実質的に更に進むことを期待します。
- 様々な工夫のもと運営を進められている様子が見られるようになってきています。今後も引き続き課題解決に向けて少しずつでも前進いただき、その積み上げによる成果を期待します。

### 3 教育活動

#### (1) 教育課程

	4	3	2	1	平均	昨年度
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等の策定	6	1	0	0	3.9	3.8
教育理念・育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保	5	2	0	0	3.7	3.8
学科等のカリキュラムの体系的編成	5	2	0	0	3.7	3.7
キャリア教育・実践的職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発	5	2	0	0	3.7	3.7
関連分野の企業・関係団体や業界団体との連携によるカリキュラムの作成・見直し	5	2	0	0	3.7	3.7
関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられている	5	2	0	0	3.7	3.8

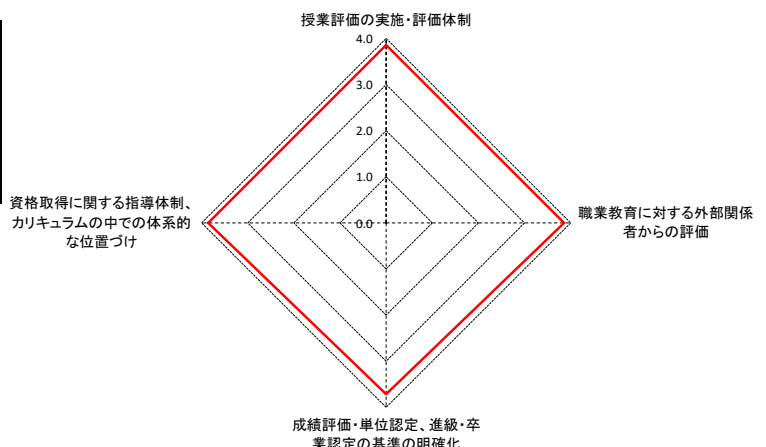


・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 教育理念が大切にされたカリキュラムとなっていると思います。地域・地域資源を活かしながらカリキュラムが編成され、現場との連携も意識されており、素晴らしいと思います。
- 教科以外でも、学生会などが活発に行われ、学生会全体で目安箱が設置されたなど、学生の自治を大切に取り組みがなされていると思います。
- いろいろな縛りがある中、ゆたかな教育課程、授業構成になっていると感じます。
- 学生の実態と到達目標、そして現場で求められる力量との「つなぎ」が大変かと思いますが、さらにご検討をお願いします。
- 実習施設＝就職と考えられがちだが、わけて考えていきたいと思えます。
- 学生だからこそ、老健、特養、障がいと体験が必要だと思います。
- 改善策にある「学科としての教育の質向上」に期待しています。
- カリキュラムの作成・見直し等につき、毎年精力的に進められておられると感じます。また、マンネリに陥ることなく、常に新しい感性を持ち、ご検討いただいていると思います。
- 教育課程の策定やカリキュラムの編成など大変苦心されていることと思いますが、年々その成果が自己評価にも現れて来ていることに敬意を表します。学生がその時々々の社会ニーズにこたえた専門職士となれるよう、今後も進めていただきたいと思えます。
- 今年度は新型コロナウイルス感染症対策が5類に移行したことにより制約が緩和された中での実習を行うことができ、これにより学生の成長の機会が確保できたことは良かったと思えます。今後も先生方のご苦労や制約はあると思えますが積極的に取り組みいただきたいと思えます。

#### (2) 指導・評価

	4	3	2	1	平均	昨年度
授業評価の実施・評価体制	6	1	0	0	3.9	4.0
職業教育に対する外部関係者からの評価	6	1	0	0	3.9	4.0
成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準の明確化	5	2	0	0	3.7	3.7
資格取得に関する指導体制、カリキュラムの中の体系的な位置づけ	6	1	0	0	3.9	3.8



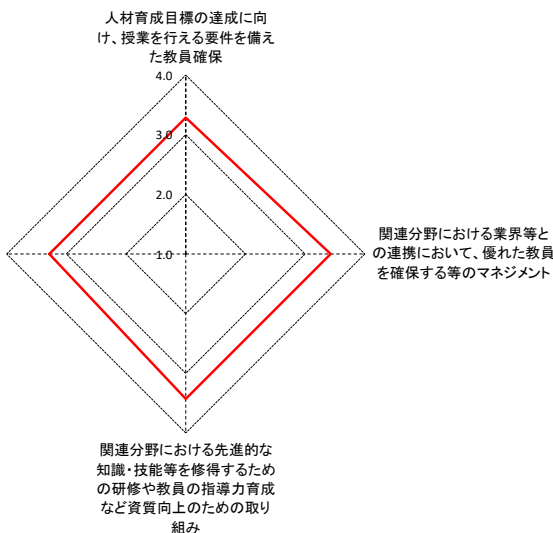
・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 実習評価については基準が難しいですが、現場と協議の場が持たれ、学生の実態や現場での状況を交流でき良かったと思えます。今後は是非継続していただきたいと思えます。
- 引き続き、学生の評価(声)を踏まえた授業改善をお願いいたします。
- 卒業まで教職員も一緒に取り組んでいると感じられます。
- 学校・講師間の相互理解と学生の情報共有はとても大事なことで、前進できたことを高く評価します。
- 資格取得を目的とした学校ですから、そこに注力している状況を認識しています。併せて、そこに対して間接的な学びも手を抜くことなく進められていると感じます。
- 今年度は新型コロナウイルス感染症対策が5類に移行したことで、これまでの授業評価や外部評価に基づいて体制作りを工夫しながら対応されたことを更に活かすことにつながっていると感じました。
- 学生個々の成績評価や進学卒業の判定について引き続き検討し、講師の方のみならず学生を含めて周知していただきたいと思えます。

### (3) 教員・研修

	4	3	2	1	平均	昨年度
人材育成目標の達成に向け、授業を行える要件を備えた教員確保	2	5	0	0	3.3	3.3
関連分野における業界等との連携において、優れた教員を確保する等のマネジメント	3	4	0	0	3.4	3.3
関連分野における先進的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組み	3	4	0	0	3.4	3.3
職員の能力開発のための研修等の実施	2	5	0	0	3.3	3.3

職員の能力開発のための研修等の実施

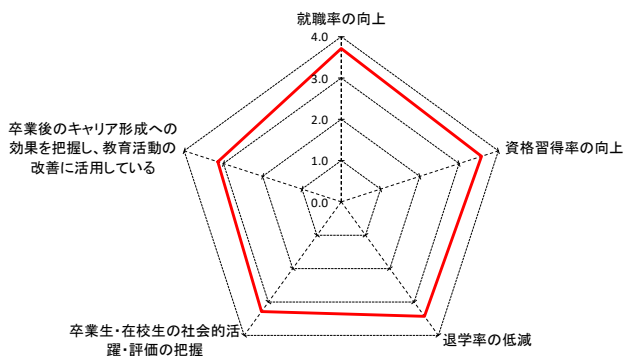


・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 非常勤講師を含め、職員の層は充実していると思いますが、フルタイムの職員への負担が大きいのではと推察します。
- 非常勤の先生方を含め、たいへん素晴らしい先生方が授業を担当されています。
- 引き続き専任教員の確保についてご検討をお願いいたします。
- 教員も研修の機会をたくさんもっていただきたいと願います。
- 日常の教育・指導業務が大変お忙しい中でも、研修・研さんの機会を確保することは質の向上のため大変必要なことと思います。今後も配慮の上、お進めいただければ、と願います。
- 前年度より自己評価が下がったことは残念ではありますが、教職員の皆さんが学生に魅力ある教育機会の提供を真剣に考えておられる姿勢には変わりがないものと思います。人員面での確保など難しい課題はありますが、学校運営の中でそうした教職員の研修受講意欲を支援するため、人的体制の整備と研修成果を活用できる環境づくりを引き続き進めていただきたいと思います。

## 4 学修成果

	4	3	2	1	平均	昨年度
就職率の向上	5	2	0	0	3.7	3.5
資格習得率の向上	4	3	0	0	3.6	3.3
退学率の低減	3	4	0	0	3.4	3.0
卒業生・在校生の社会的活躍・評価の把握	2	5	0	0	3.3	3.0
卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育活動の改善に活用している	1	6	0	0	3.1	3.2



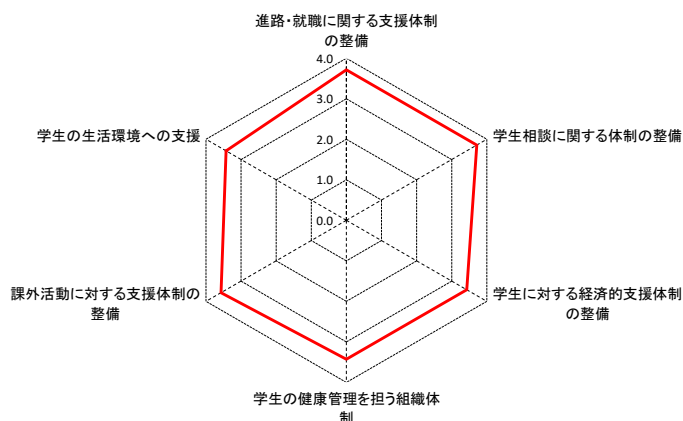
・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 先生方の丁寧な関りにより、退学者が大きく減少したことはとても評価できます。講師会議などの実施で、学生理解の共有が進んでいる表れではないでしょうか。
- 先生方のご負担が大きいところですが、卒業生のサポートについても、引き続きよろしく願いいたします。
- 入学数も少ないので、退学率の減少は大きな課題だと思います。
- 卒業生の力も借りてくしろせんもん学校(介護、保育)の魅力を発信していきたいものです。
- 卒業後のキャリア形成から教育活動の改善に結びつけられたらより良いですね。
- それぞれ、ご尽力なされていると感じます。
- 昨年まではコロナウイルス感染症対策により学生のフォローアップは、大変だったと思いますが、今年度からは環境が改善され働きかけが容易になりつつあることにより成果はあったものと思います。
- 卒業生と学校・在校生を結び付けていくことは、双方にメリットがあると思いますので課題はあることと思いますが、今後もアプローチをしていただけるよう取り組みをお願いします。

## 5 学生支援

### (1) 支援体制

	4	3	2	1	平均	昨年度
進路・就職に関する支援体制の整備	5	2	0	0	3.7	3.5
学生相談に関する体制の整備	5	2	0	0	3.7	3.5
学生に対する経済的支援体制の整備	3	4	0	0	3.4	3.2
学生の健康管理を担う組織体制	3	4	0	0	3.4	3.2
課外活動に対する支援体制の整備	4	3	0	0	3.6	3.5
学生の生活環境への支援	3	4	0	0	3.4	3.3

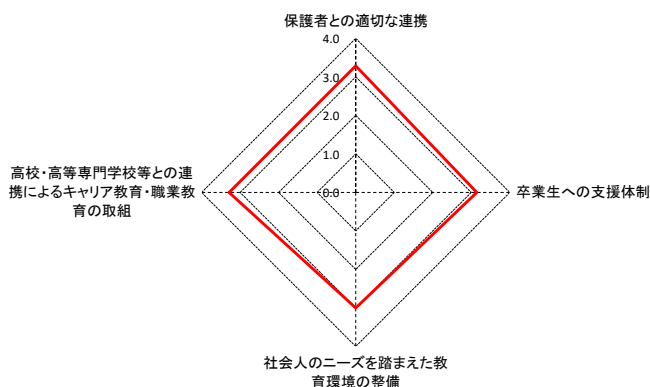


#### ・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 地域の中で求められるせんもん学校の役割の変化に対応した丁寧な関りが、学校の中に根付いてきているように感じています。
- 「特別な教育的ニーズ」をもつ学生を含め、多様な実態にある学生が入学している中、先生方のご奮闘を感じております。引き続きよろしくお願ひいたします。
- 若者にはWebやSNSなどを活用し続けるPRが有効です。YouTubeも良いですね。
- 教員のみなさんと学生の関係性に触れる機会がありますが、コミュニケーション良く進められていると認識しています。
- 様々なお取り組みの結果として成果が表れつつあるものの、現在の学生の事情を考えると支援する側の負担が大きくなってきており、支援体制の整備を早急に進めなければ教員側の負担は今後も増え続けるものと思います。学生が安心して学べる支援体制を作ることは学生・保護者の満足度も上がり結果学校の評価も高まることにつながります。引き続き現在の課題にお取り組みいただきたいと思います。

### (2) 連携体制

	4	3	2	1	平均	昨年度
保護者との適切な連携	2	5	0	0	3.3	3.3
卒業生への支援体制	1	6	0	0	3.1	3.0
社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備	0	7	0	0	3.0	3.2
高校・高等専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組	2	5	0	0	3.3	3.2

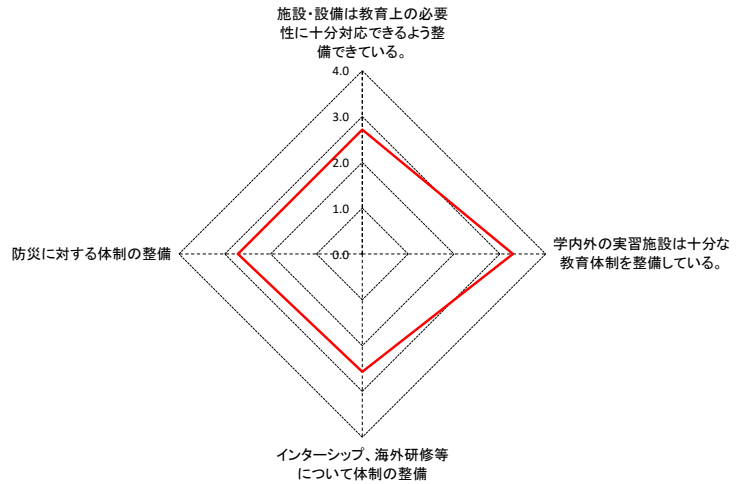


#### ・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 高校との連携や保護者との面談など、前年度の課題が共有されたことが改善につながっているように思います。
- 卒業生への支援体制も、何か一つ取り組みの目標があると前進するのではないのでしょうか。
- 保護者との連携が図られていると感じます。引き続きよろしくお願ひいたします。
- 社会人入学生も保育・介護の魅力を発信する役割を担っていただけるとよいですね。
- 卒業生への支援体制を構築し、福祉人材を減らさない取組みも必要だと考えます。
- 高校との関わりについては積極的に展開されていると思います。
- 保護者との連携は、ご苦労されている様子が見られますが、改善に向けた取り組みを様々されております。突破口はなかなか見いだせないかと思いますが、今後も丁寧に進めて信頼醸成を図っていただきたいと思います。
- 卒業生への支援・連携は、新たな学生の紹介や現場で求められている知識技能などの情報把握など多岐にわたって学校にとって大きな財産になるかと思ひます。学校組織として取り組みが進むよう検討いただきたいと思います。
- キャリア教育に関しては、高校のみならず中学校・小学校でも進んでいることから今後連携を検討を行っていただき、将来の学生確保にもつなげていただきたいと思います。

## 6 教育環境

	4	3	2	1	平均	昨年度
施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備できている。	0	5	2	0	2.7	2.8
学内外の実習施設は十分な教育体制を整備している。	2	5	0	0	3.3	3.3
インターシップ、海外研修等について体制の整備	0	4	3	0	2.6	2.7
防災に対する体制の整備	0	5	2	0	2.7	3.0



・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

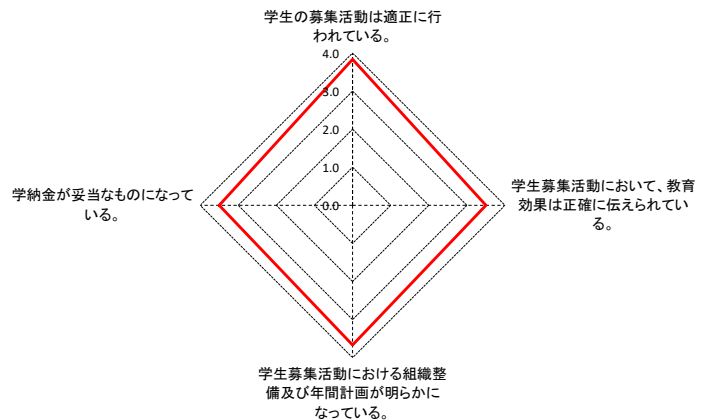
●環境改善は教育にも影響するし、学生のモチベーションにも影響する大きな課題だと思います。地域になくはならない養成校を守るために行政も一緒に考えていただく機会があるといいと思います。

●限られた資源の中で、知恵を絞った運営に努められている、と感じます。

●ハード面の問題は、学生や保護者が学校の魅力としてとらえる大きな要素でもあり、着実に解決に向けた取り組みをしていただきたいと思います。

## 7 学生の受け入れ募集

	4	3	2	1	平均	昨年度
学生の募集活動は適正に行われている。	5	1	0	0	3.8	3.8
学生募集活動において、教育効果は正確に伝えられている。	3	3	0	0	3.5	3.7
学生募集活動における組織整備及び年間計画が明らかにしている。	4	2	0	0	3.7	3.8
学納金が妥当なものになっている。	3	3	0	0	3.5	3.7



・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

●学校としては、様々なSNSを活用し工夫した情報発信をされていると思います。それでも、都市部への憧れや流出は避けられない現状があります。釧路の恵まれた自然環境の中で学べるという魅力を、どのように発信して釧路の人口を回復させるのか、地域の大きな課題として共に考えていきたいです。

●ホームページが充実されてきたことを感じます。

●学生の減少は、釧路市もしくは道東、北海道全体の課題として提案が必要だと思います。

●HPの刷新や充実は必須です。

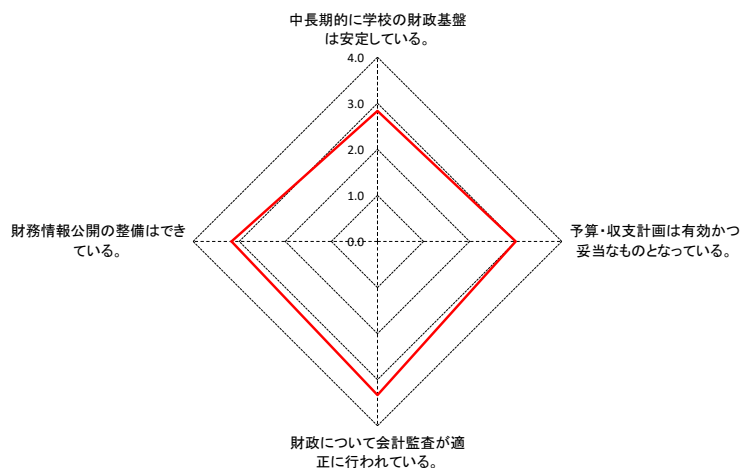
●オープンキャンパスは有効な機会だと思いますので、更に充実したものを期待します。

●現在も様々な工夫をしながら情報発信・募集活動をされていると思います。それらの募集活動の効果の検証をしながら、より良い活動につなげていただきたいと思います。また今後は、出口側となる業界側に学生不足＝業界の就業人員不足であることを認識いただいて協力していただく仕組みづくりを進めていただきたいと思います。

●募集活動の工夫に加え、評価で表出した問題点改善点に丁寧に対応し、学生数増につなげていただきたいと思います。

## 8 財務

	4	3	2	1	平均	昨年度
中長期的に学校の財政基盤は安定している。	0	5	1	0	2.8	3.0
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。	0	6	0	0	3.0	3.2
財政について会計監査が適正に行われている。	2	4	0	0	3.3	3.5
財務情報公開の整備はできている。	1	5	0	0	3.2	3.3

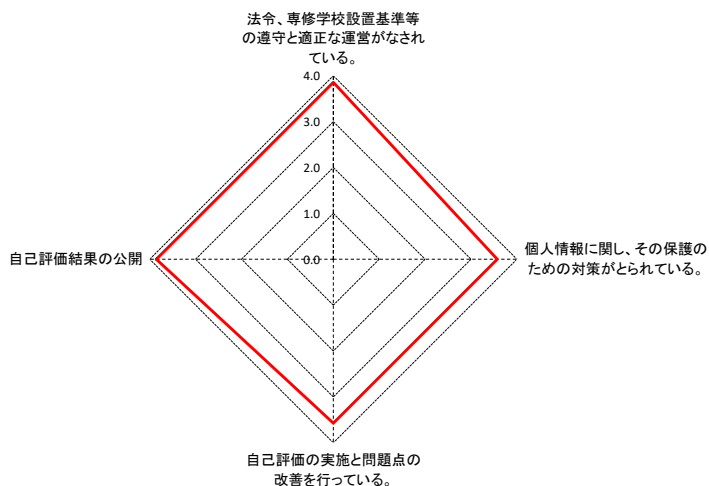


・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 大きなひとつの打開策がすべてを解消できることもあると考えます。
- 今後もコンプライアンス良く、運営されることを期待します。
- 財務状況の現状把握や、先の見通しについて職員とコミュニケーションいただき、安心して学生に向き合える環境づくりをお願いします。

## 9 法令の遵守

	4	3	2	1	平均	昨年度
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされている。	6	1	0	0	3.9	4.0
個人情報に関し、その保護のための対策がとられている。	4	3	0	0	3.6	3.7
自己評価の実施と問題点の改善を行っている。	4	3	0	0	3.6	3.7
自己評価結果の公開	6	1	0	0	3.9	4.0

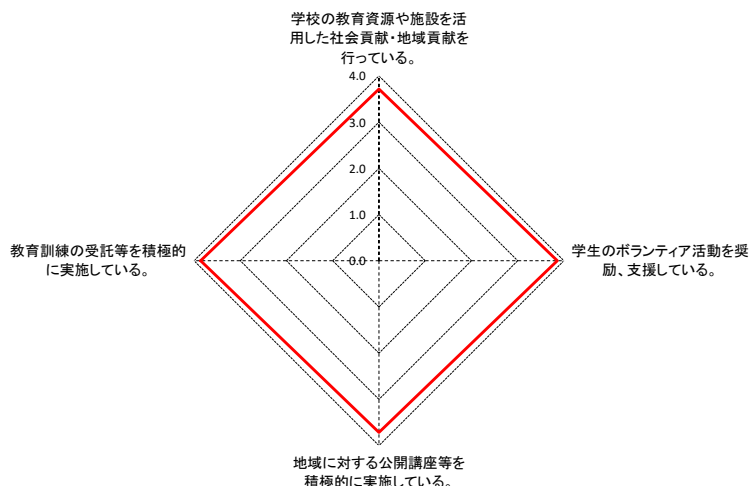


・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 自己評価は毎年しっかりと行われ、それが次年度に活かされ前進していると思います。
- 適切に運営されていると思います。
- 個人情報の取扱いに関しては、過度に保護に走ることなく、学生の同意を得た上で、積極的に進める意識も持って良いと思います。
- 自己評価から改善の状況がうかがえますが、現状にとどまることなく今後も一層の向上の為にも出た課題を解決していく体制づくりを進めていただきたいと思っています。

## 10 社会貢献・地域貢献

	4	3	2	1	平均	昨年度
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っている。	5	2	0	0	3.7	3.7
学生のボランティア活動を奨励、支援している。	6	1	0	0	3.9	4.0
地域に対する公開講座等を積極的に実施している。	5	2	0	0	3.7	3.7
教育訓練の受託等を積極的に実施している。	6	1	0	0	3.9	4.0



・評価によって表出した課題及び考えられる改善策

- 学校が地域とのつながりを大切にしていることが、地域の中で学生が生き生きと活躍する体験となっており、今後も是非大切にしてほしいと思います。
- 地域の行事には参加しているので、今後、市民レベルまでアピールするとともによいと思います。
- 公開講座や講演活動は高く評価できます。
- 毎年、積極的な社会貢献・地域貢献の実践に敬服しています。是非継続した取り組みを願います。
- 新型コロナウイルス感染症対策などにより、従来どおりの活動が難しいことと思います。
- 学校の特色でもある社会貢献・地域貢献で全体として良い評価となっていることは日頃からの取り組みの成果だと思えます。今後も継続した取り組みをしていただきたいと思います。
- 地域との結びつき・連携は、難しい課題ではありますが学生会が行った地域清掃活動を突破口として今後も地域のニーズを探りながら学校として取り組めることを少しずつ進めていただきたいと思います。

### ●その他の課題

- 施設・設備への対応。
- 少ない学生数ですが、誠心誠意その教育・指導にあたる教職員のみなさまのご尽力には心より感謝したいと思います。これからも継続して、学校運営にあたっていただきたいと思います。
- 地域との結びつきについては、地域の学校として共に知恵を出し合って進めていきたいと考えます。地域への広報につきましては、町内会ごとの回覧などで期間をいただかなくてはなりませんのでご配慮いただけますとありがたいです。

### ○考えられる改善策

- 福祉の専門学校どうしの連携。
- 学生が集まるためには、やはり「魅力」づくりかと思えます。人のいのちを守り、くらしを豊かにし、生きがいを創造する、この学校での営みは十分に「魅力」あるものだと思いますので、自信をもって、教職員、学生、保護者と共々、学校のアピールを拡幅していきたいものです。委員として今後も積極的に活動して行きたいと思えます。
- どのような企業・団体でも限られた財源の中で工夫しながら最大の効果を出せるよう努力しているものと思えます。今後、人口減少の中で学生数も減少が見込まれる中、どの規模で学校運営を進めていくのかを検討していくことも必要かと思えます。またお金をかけるべきところと工夫で補うところの考え方は、組織内の立場によって変わってしまうと思えますが、そのギャップを埋めるためには、さらなる組織内コミュニケーションが大切だと思います。学校職員が同じ認識で学生たちの為に良い学校づくりを今後も進めていただきたいと思います。

## 学校としての改善策

※ ( ) の数値は、昨年度評価との比較の変動を示す

### 1. 教育理念・目的・育成人材像【学校関係者評価～3.6(±0)、学校自己評価～3.2(±0)】

●学生数は少ないですが、本校の存在意義や役割(地域にとって必要とされる学校)を自覚し、努力していきたいと思ひます。  
●ホームページ等を通して、学校の理念・目的・育成人材像・将来像(構想)や取組等について保護者はもとより、地域・業界への情報発信を積極的かつ丁寧に進めて行きたいと思ひます。

### 2. 学校運営【学校関係者評価～3.4(-0.1)、学校自己評価～3.0(±0)】

●教員同士のフラットな関係性を築き、学生に対して柔軟な対応ができること等を目指した「ティール運営」が、ねらい(教職員一人一人が各担当事項について責任を持って決定し進めていくことで学校運営を活性化させていく)にさらに近づくことができるよう、教職員間のコミュニケーションを大切にしていきたいと思ひます。  
●人事・給与関係の環境整備について、取組みを進めていきたいと思ひます。

### 3. 教育活動

#### (1)教育課程【学校関係者評価～3.7(-0.1)、学校自己評価～3.3(±0)】

●カリキュラムの充実とともに、企業・団体等との連携(講師招聘・実習報告会への出席依頼等による学生への励ましやアドバイスなど、職業生活への意欲づくり)を積極的に進めるなかで、充実した教育課程の編成を図っていききたいと思ひます。

#### (2)指導・評価【学校関係者評価～3.9(±0)、学校自己評価～3.4(+0.1)】

●授業(指導)改善に結びつく公開授業及び学生による授業評価を継続実施するとともに、非常勤講師の参加(協力)数も増やしていきたい。

●また、評価、単位認定、進級・卒業認定についても引き続き検討を進めていきたい。

#### (3)教員・研修【学校関係者評価～3.4(+0.1)、学校自己評価～2.9(-0.2)】

●「学生の理解と関わり方」をテーマとして進めている年間2回の全体研修会(全教職員対象)を継続実施し、教職員の共通理解の一層の深まりを図るとともに、非常勤講師の参加者数増にも努めたいと思ひます。

●校外研修への参加は、教職員の資質・能力の向上に不可欠なものであることから、今後も学ぼうとする教職員増に向け計画的に支援していきたいと思ひます。

●教員及び講師の資質向上に向け、研究・実践の成果を「研究紀要」としてまとめ、関係機関に発信していますが、令和5度も第11号を発刊することができました。非常勤講師にも掲載のご協力をいただいておりますが、更に拡大しながら毎年の発刊を目指していきたいと思ひます。

### 4. 学修成果【学校関係者評価～3.4(+0.2)、学校自己評価～3.2(+0.4)】

●退学者数が大幅減となりました。今後も「学生一人一人に寄り添い支援していく姿勢」(一人一人に応じた指導体制)を大切に、学生との日常的な面談や相談活動、保護者との連携の充実などにチームとして(意図的・計画的に)実践し、退学率の低減に取り組みたいと思ひます。

●就職を希望する学生の就職率はほぼ100%であり、就職先もほぼ100%が学びに関連した業種になっています。ただし、卒業生の中には短期間のうちに離職するという事例も見られ、卒業後の状況の把握が課題となっています。卒業生の現状をおさえることを通じて、現在学んでいる学生との関わり(就職指導等)に生かしていきたいと思ひます。

●卒業生の力の活用については、今年度はオープンキャンパスや高校生の来校授業で進めましたが、今後も積極的な活用を進めていきたいと思ひます。

### 5. 学生支援

#### (1)支援体制【学校関係者評価～3.5(+0.1)、学校自己評価～3.1(+0.1)】

●学生各々が持つ課題等は一人一人異なり、近年は関りを要する学生が増加傾向にあります。本校では、小・中・高校の学級担任に当たるTA(ティーチング・アドバイザー)をおき、個人面談、生活相談、教育相談、就職相談などを行っています。来年度も、TAを中心としながらも、科別ではなく組織として共有しながら(話しやすい教職員に相談して良いことを学生に周知して)進めていきたいと思ひます。

●学生個々への関わり(支援)を充実させるために、数年前から、教職員、学生(及び保護者)を対象とした面談(相談活動)を外部の専門的知識と実践をお持ちの方に協力いただいております。学生の状況の把握や支援の具体について、数多くのアドバイスをいただき、学生への支援充実に必要な力となっています。今後もサポートをいただきながら、学生支援を力強いものにしていきたいと思ひます。

#### (2)連携体制【学校関係者評価～3.2(±0)、学校自己評価～3.0(±0)】

●本校で学び、その学びをもとに職業生活を送っている先輩から、働くことの喜び、やりがい、苦労、悩みなどの体験談を聞くことは、様々な面で学生に役立つとともに、本校教育活動の振り返りにつながります。オープンキャンパス、ホームページをはじめ、その他一層の機会設定について検討したいと思ひます。

●学生が意欲的に学び、充実した学校生活を送る上で、保護者の役割には大きなものがあります。保護者との連携については、他管内在住の方も多く、難しさもありますが、入学当日の保護者説明会並びに、入学前、入学後の学生・保護者との面談を積極的に進め、学校と保護者の共通理解を進めたいと思ひます。また、高校からは入学前に入学生全員の情報提供の協力をいただいておりますが、学生が自分の良さや持ち味を発揮できるような支援に活用していきたいと思ひます。

### 6. 教育環境【学校関係者評価～2.8(-0.2)、学校自己評価～2.6(-0.2)】

●釧路市の補助金については年次計画を立てて執行しており、今年度は両科の新聞購読や図書購入の継続に加え、学生用コンピュータの購入(残り半数入れ替えを行い完了)を進めることができました。来年度は、両科の授業の充実に向けた活用を図るとともに、教育環境の整備に向けて優先順位を考えながら(中長期的な展望を持ち)計画的に進めていきたいと思ひます。

●スクールバスを利用した体験型の授業は、本校の特色ある教育活動を支えるのに大きな役割を果たしています。今後も一層の充実を図ってまいります。

### 7. 学生の受け入れ募集【学校関係者評価～3.6(-0.2)、学校自己評価～3.3(±0)】

●今年度もホームページ、オープンキャンパス、高校訪問、出前・来校講座、など、情報発信(広報活動)や学生募集活動を通して本校の良さを発信し力注いで取り組んできました。高卒生の著しい減少もあり、ここ数年入学学生数は依然として厳しい状況が続いていますが、学生受け入れ募集に係る諸活動に視点を当てただけでなく、本校諸課題改善への取り組みの大切さをおさえながら、進めていきたいと思ひます。(来年度のオープンキャンパスは、コロナ禍により中断していた「ランチタイム」を復活し、参加者と学生・教員の交流を充実させ、本校の良さをアピールする機会としたい)

●地域との関わりの中で本校の存在をアピールしていくことも大きな力となることから、連合町内会との地域清掃の実施や、学校祭での地域住民との交流などの機会を大切にしていきたいと思ひます。

●釧路新聞社、北海道新聞社による本校教育活動の紹介(応援)に心から感謝しています。今後も両社のお力をおかりしながら、本校の活動や魅力を市民に発信していきたいと思ひます。

### 8. 財務【学校関係者評価～3.1(-0.2)、学校自己評価～2.9(-0.1)】

●充足率が50%を切っている状況が続いていることから、財務には厳しい状況がありますが、前述の広報活動・募集活動を充実させるとともに、在校生の学校に対する評価の向上(それが高校の後輩に伝わっていき、募集活動にも関わることから)、中退者減にもつかりと向き合いながら進めていきたいと思ひます。

●また、限られた予算のなかで最大限の成果を生むように、今後も努力を続けていきたいと思ひます。



---

9. 法令の遵守【学校関係者評価～3.8(－0.1)、学校自己評価～3.2(－0.1)】

●法令遵守は組織運営の根幹に係わる最も重視されるべき事項です。引き続きしっかりと対応していきたいと思いをします。

10. 社会貢献・地域貢献【学校関係者評価～3.8(－0.1)、学校自己評価～3.3(±0)】

●社会貢献・地域貢献は本校が大切に、力を注いでいる取組のひとつで、例年、学校関係者評価においても最も高い評価をいただいている項目の一つです。コロナ禍の中で、今年度も回数が減少したのも多くありましたが、出前・来校講座、地域から要請のボランティア活動、本校自然環境教育センター主催による市民参加型の「釧路自然再発見シリーズ」講演会、研究紀要の発刊、地域清掃など、継続して取り組むことができました。来年度も積極的に取り組み、地域等の期待に応えていきたいと考えています。

●毎年10月に学生会主催の学校祭を開催し、地域住民の方に楽しいひとときを過ごしていただくとともに学校の良さなどを地域に向けて発信しており、学生にとって大事な取り組みの一つとなっています。令和2年度から、学生会活動のテーマを、法人の「発展計画」に示されている学院・学園の在り方(方針)の中から「誰かに必要とされるって素晴らしい」とし、学校祭のねらいが「地域の方々との交流」「学校の認知度を高める」であることも明確化して取り組むことにしました。今年度は4年ぶりに地域公開の「学校祭」を復活させることができました。コロナ禍前の状況までには至っていませんでしたが、地域の方々から高い評価をいただき、学生も達成感・充実感等を味わうことができました。更なる充実を目指したいと思いをします。また、「町内会と連携した地域清掃」(令和2年度から実施)も継続実施していきたいと思いをします。

※今年度は、全13項目のうち、平均値が昨年度を上回ったのは「3.教育活動(3)教員・研修」「4.学修成果」と「5.学生支援(1)支援体制」の3項目で、3項目が昨年度と同数値、7項目が昨年度を下回りました。

※前年度比0.2ポイント以上の変動があったのは4項目で、0.2ポイント増の「4.学修成果」、0.2ポイント減の「6.教育環境」「7.学生の受け入れ募集」「8.財務」でした。

※13の項目で、相対的に平均値上位を占めたのは、順に「3.教育活動(2)指導・評価」「10.社会貢献・地域貢献」「9.法令の遵守」「3.教育活動(1)教育課程」で、平均値が3.7を上回っています。(「3.教育活動(2)指導・評価」「10.社会貢献・地域貢献」「9.法令の遵守」は昨年度も上位の3項目でした)

※また、相対的に平均値が低かったのは、順に「6.教育環境」「8.財務」「5.学生支援(2)連携体制」で、平均値が3.3を下回っています。

※なお、小項目62についてみると、平均値が昨年度を上回ったのは19項目、12項目が同数値、下回ったのは31項目となっています。

---